別紙

争議以来もう旬日になります　秋も次第に深くなりそろ〳〵淋しさを覚えるやうにあ
りました　皆さんもこのごろは種々の苦労や体験をなすったことと思ひます　併しそれ
によって得られたものはないでせう　皆さんは却って色々な意味で御難をなすっ
たと云ってもいゝでせう　とりわけ故郷の父母兄弟の方々は、日々の新聞雑誌でこ
ちらの模様が地方へ大げさに伝はるにつけ　遠く離れた皆さんの身上を気づかい此
度数をおちく眠れぬ程心配をして居られること、思ひます
皆さんの行動は正しかったかどうか月の円かなこの頃の夜半胸に手をあて静かに過
去十数日のことを考へて見てはどうでせう　もちろん組合の干係もあり　又いろ〳〵
の脅迫や煽動もありませう　けれども皆さんは今冷静にそして篤と考へて自分の思
ふ所に従って猛然と進むべき時ではないでせうか　会社は今皆さんが一日も早く争
議前の皆さんになって会社の為めに立帰って来られるのを、お待ちして居るのです
元の皆さん　それこそ　会社は両手を広げて喜んでお迎へします
そしてお互に笑顔で工場を運転して行[illegible]やうになれば皆さんはもとよりお里も
とのお父さんお母さんにとってどれ丈幸[illegible]か測りません
田舎ではもう稲からいれ柿が色づきとこ[illegible]で忙しいことでせう　皆様せめて故郷
の方々に明るい心で豊年の収穫にいそしんで頂かうではありませんか

十月九日

東洋モスリン株式会社

6.10.16
1817

労秘第三六〇二號
昭和五年十月十一日

警視総監　丸山鶴吉

内務大臣安達謙蔵殿
社会局長官殿
各庁府県長官殿（北海道、京都、大阪、神奈川、兵庫、愛知、静岡、福岡）

洋モス亀戸工場労働争議ニ関スル件（第十報——十月十日迄）

要旨

(1) 労資共何等積極的態度ニ出テス相対峙シ持久戦ノ準備ニ努メツヽアリ

(2) 会社側ハ最近続々帰郷スル女工アル現状ニ鑑ミ此ノ数日シテ争議団ハ分裂スルモノト予想シ頗ル楽観シ居ル模様ナリ

(3) 争議団ハ依然言論戦文書戦ヲ以テ気勢ヲ揚ゲ結束ヲ固メツヽアルモ最近稍惰気ヲ生セル感アリ

既報標記労働争議前報後ノ状況左記ノ通リ